

日本建築学会関東支部 第26回提案競技
「美しいまちをつくる、むらをつくる」

デザインコード「美の基準」制定32年を経て
「真鶴町における地域資産の活用とまちづくり」

主 催：日本建築学会 関東支部
共 催：日本建築学会関東支部神奈川支所
後 援（予定）：神奈川建築士会
神奈川事務所協会
日本建築家協会神奈川地域会

趣旨

真鶴町は1993年、全国に先駆けて「美の基準（デザインコード）」を制定し、自然と建築、暮らしが調和するまちづくりを住民主体で進めてきました。「美の基準」は行政による一方的な規制ではなく、町民が「何を美しいと感じるか」を語り合い、その共有を通して地域の景観と文化を守ろうとする理念です。

本設計競技では、真鶴町の「美の基準」をあらためて読み解き、その精神をふまえながら、地域の美意識を未来へと継承する建築・空間・ストリートイベント等の提案を募集します。地域資産を積極的に活用し、真鶴の自然・地形・風景と響き合う、新たな時代の「美の基準」を描き出す提案を期待します。

対象地域

古くからの市街地を貫くメインストリート（以下、「センターロード」と呼ぶ）約350mの区間を対象とします。対象地に存在する地域資産を活かしながら、真鶴町の美意識を未来へと継承していくような提案を求めます。建築に限定せず、空間や活動を広く捉えた提案としてください。

- 建築・リノベーション等による空間デザインの提案
- ストリートイベント等の企画による空間デザインの提案
- 街路・ストリートファニチャーなど、街路空間のデザインの提案

現地説明会

2026年1月24日（土）13:00～ 参加費：まち歩き参加代 3,300円（学生の参加者は無料）

集合場所：真鶴駅下車 真鶴出版（神奈川県足柄下郡真鶴町岩217）

13:00～16:30 レクチャー＋町歩き（16:40 解散予定）

講師：真鶴出版 来住 友美氏

*当日受付にて、「まち歩きMAP」や資料を配布します。

*現地説明会以後、町や美の基準等に対するお問い合わせや提案に向けた相談は真鶴町都市計画課にて対応します。（電話：0465-68-1131）

要求図面とチーム

参加者は1チーム3名程度のグループで提出してください。

『提案図面』（A3 サイズ、2 枚）

- 1) 着目した現状や計画条件を図や写真等を用いて、わかりやすく説明してください。
- 2) 提案内容を、設計趣旨、図版（ダイアグラム、配置図、平面図、断面図、立面図、透視図、模型写真等）を自由に組み合わせ、表現してください。縮尺明記のこと。必須図面はありません。ただしビデオ等は受け付けません。なお、設計趣旨の概要は200字以内の文章にまとめ、10ポイント以上の文字で図面中に記入してください。
- 3) 『提案図面』はA3サイズ、2枚（297mm×420mm、サイズ厳守、変形不可、2枚つなぎ合わせることは自由）以内。
- 4) 2月21日の「美の基準シンポジウム」内にて、プレゼンテーション発表（8分）を行うことが必要です。（その場での公開審査となります）

提出方法

2026年2月21日（土）当日12:30までに会場に持参してください。

提出会場：真鶴地域情報センター（神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴 433-1）

当日は13:00より、同会場にてシンポジウム「真鶴町における地域資産の活用とまちづくり」を開催し長年この美の基準に向き合ってきたト部直也氏の講演、および対談が開催されますのでそちらにも参加いただきます。したがって、シンポジウム開始前までに応募作の展示をしていただきます。掲示場所などは当日指示いたします。

審査方法および発表

ノミネート者による約6分程度のプレゼンテーションの後、講評・審査を行います。なお、代理によるプレゼンテーションは認めません。PCプロジェクターは会場にご用意しますが、コンピューターなどは各自でご用意ください。接続はHDMI、あるいはUCB-Cとなります。

入賞者発表

審査後、プレゼンテーション会場にて発表し、表彰を行います。
入賞作品、審査講評は後日、日本建築学会関東支部ホームページに発表します。
入賞作品展示については詳細未定、後日決定。

審査基準

- ・ 「美の基準」への理解と創造的解釈
- ・ 地域活動等に対する提案力
- ・ 表現、構成の明快さ

審査委員

- 審査委員長 国吉直行（都市デザイナー・都市プランナー）
- 審査委員 野村和宣（神奈川大学建築学部教授・集落町並み Walker YouTuber）
- 審査委員 多田英高（真鶴町 都市計画課長）
- 審査委員 川口 瞬（真鶴出版）
- 審査委員 來住友美（真鶴出版）
- 審査委員 ト部直也（真鶴町市民）

賞

- 最優秀賞（1点）：賞状＋賞金 15万円
- 優秀賞（2点）：賞状＋賞金 10万円
- 真鶴賞（数点）：賞状＋賞金 5万円

著作権

応募作品に関する著作権は各応募者に帰属します。ただし主催者及び後援者が、この事業の主旨に即して入賞作品を日本建築学会誌またはホームページに掲載、図書の出版、展示等の公表のために用いる場合は、入賞者及び後援者が『提出図面』および『提案概要書』の全体あるいは部分を利用することについて承諾することを前提とします。

注意事項

- ・ 現地での撮影・調査は町民生活に十分配慮し、許可のない立入は禁止します。
- ・ 美の基準についての
- ・ 他の設計競技等での重複応募は禁止。提案はオリジナルであること。
- ・ 応募作品に関する著作権は各応募者に帰属します。
- ・ 応募チームのうち1名は日本建築学会の個人会員（正会員、準会員）とします。

参考資料

真鶴町『美の基準ガイドマップ』（真鶴出版）

書籍『真鶴 美の基準』

真鶴出版ウェブサイト：<https://manapub.com/>

「起伏と石の美しさシークエンス・天住 真鶴」

<https://www.youtube.com/watch?v=PBfPT-cYA0g&t=274s>

参加申し込み・問い合わせ先

日本建築学会関東支部 神奈川支所 第26回提案競技係

〒231-0011

横浜市中区太田町2-22

神奈川県建設会館5階 神奈川県建築士会内 担当：柴田

TEL：045-201-1284

FAX：045-201-0784

E-mail：info@kanagawa-kentikusikai.com

計画対象地

